

## ① 地域公共交通網改善計画について

本町が平成29年に作成した地域公共交通網改善計画によると、「町の公共交通はJR及び路線バスを中心に構成され、路線バスのサービス水準は全国平均よりも高い水準にある。」とされるが、「役場などの町内の主要公共施設へのアクセスが悪い地域や、バス停から一定の距離があり、かつ急傾斜地で利用が不便な地域などが存在している。」と評価している。

そのため、町としても各事業者に対して要望活動を行い、補助や一定の負担を行いより利便性が高くなるよう環境改善に向けて取り組んでいると理解している。

また、町は平成29年度に立ち上げた地域公共交通会議で乗合タクシーについて検討を行い、翌年6月から2地区において定時定路型、平成31年1月からはデマンド型、更に5月からはそれまでのデマンド型を改良した試験運行を行いデータを集め、本運行への可能性について模索している。

そこで以下の点について伺う。

- (1) 現在の町内バス路線の状況及び近年のバスの路線変更はどのような変更が行われ、住民ニーズに合ったものとなっているのか伺う。
- (2) 町内中心部をカバーする町内循環線の必要性を感じるが、検討状況やバス事業者への要望はどのようにになっているのか伺う。
- (3) JR線増便の要望について伺う。
- (4) 乗合タクシーの今後についてはどのように考えているのか伺う。

## ② 中尾城公園のスパイラルスライダーについて

度重なる事故により平成27年7月に利用を中止したスパイラルスライダーについて昨年5月の全国紙に「2.8億円の滑り台、町の重荷に」という記事が掲載された。その翌月には産業厚生常任委員会所管事務調査の中で、「中尾城公園スパイラルスライダーの現状と今後の取組」が報告された。

また、その後の議会でも同僚議員から安全性やそのものの存在意義についての質問がされてきた。時を同じくして、同年9月の新聞に「再開に目処」の見出しで報道され再開に向けた流れが町民にも広く知れ渡った。

一般質問を聞いていても町民の声を聞いても、安全性やこれから掛かる費用について考えると、再開を手放しでは喜べないのではないかと感じている。

そこで以下の点について伺う。

- (1) 再開に向けた現在の状況と安全の担保についての考えを伺う。
- (2) これまで議論されてきたような、危険性へのリスクや整備に掛かる費用及び維持に掛かる経費をかけてまでこの事業を進めようとする意義について伺う。